

平成22年度 一般会計予算

52億500万円

3月定例議会で、平成22年度予算が可決されましたので、その概要をお知らせします。

鳩山政権が掲げる「コンクリートから人へ」また「命を守る予算」に転換されました政権初の新年度予算は、一般会計総額が前年度当初予算対比4.2%増の92兆2,992億円となり、4年連続の増加を見せました。

22年度予算は、こうした国の動向、地方財政計画等を勘案しつつ、終始最大限の財源確保に努める中での編成となりました。また、第4次八百津町総合計画及び第3次行政改革大綱に沿った行財政基盤の確立に務め、閉塞感が漂うことなく住民ニーズの優先度を測り、可能な限り皆様の期待に応えることを目標に経費の節減、合理化に努めた効率的な予算編成を行いました。

八百津町の一般会計においては、前年度増額要因の伊岐津志野上線自歩道新設工事、ファミリーセンター音響設備等の改修事業等は完了いたしました。フレンドリーパークおおひら拡張事業、和知・錦津小学校施設整備事業等の新事業や子ども手当創設、生活介護・施設入所支援等の利用者増による扶助費の増加、更には定住促進のための奨励金創設、リトアニア訪問事業による補助費の増加のほか、学校支援員の増員、和知地区の学童保育所開所、安心安全な妊婦支援、女性特有のがん健診の実施など、福祉・教育・少子高齢化等に対応するための予算を重点的に配分した結果、前年度対比1億2,500万円(2.5%増)の予算としました。

歳入

一年間のすべての収入(一般会計)

皆さんの税金や国からの地方交付税が代表的なものです。

町民一人あたりが支払う税金 (H22.4.1現在の人口 12,609人)	
109,738円	
内 訳	固定資産税 62,336円
	住民税 41,486円
	たばこ税 3,569円
	軽自動車税 2,347円

【用語の解説】

自主財源
町の条例などに基づき独自に収入するもの
依存財源
主に国や県から交付されるもの
地方交付税
国から財政力に応じて交付されるもの
繰入金
基金などから現金を取り崩して入れるもの
繰越金
前年度余剰金のうち財源として予算化するもの
町債
事業などの財源として借り入れる長期借入金

